

整理番号	HT26157	分野	医歯薬学	(キーワード)	経皮吸収
------	---------	----	------	---------	------

新潟薬科大学

皮膚疾患に適用する薬を調製し、その機能や効果を調べてみよう

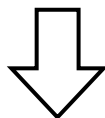
先生(代表者)	飯村 菜穂子 (いいむら なほこ) 薬学部・准教授				
自己紹介	薬の有効成分を原末そのまま医療の現場で使うことはほとんどなく、様々な患者さんにあわせ、患者さんが飲みやすく、使いやすい「特別な形」(剤形:たとえば錠剤、カプセル剤、注射剤、軟膏剤など)にして使用されます。そのための技術について考える学問が製剤学です。現在、その領域において、患者さんが安心して使用でき、さらにあまり薬を使うことを負担に思わないような便利な薬をつくる技術の開発を行っています。そしてその新しい技術を使って新しい機能性をもつ医薬・化粧品材料の開発を行っています。				
開催日時・主な募集対象	平成26年8月17日(日)	(対象)	中学生・高校生	(人数)	30名
集合場所・時間	新潟薬科大学 B棟 B205講義室		(集合時間)	10:00~10:30(受付)	
開催会場(集合場所)	新潟薬科大学 住所: 〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265-1 アクセスマップ: http://www.nupals.ac.jp/about/access.html				
内 容					
<p>皮膚を投与経路にすると、薬を飲み込むのに不自由な人にも使えるし、注射のように”チクン”と痛いこともありません。さらに薬を中止したいときは拭き取ったり、はがしたりすれば直ぐに投与をやめることができるので、お薬の投与する場所として「皮膚」は注目されています。</p> <p>そんな皮膚に作用する薬(皮膚への塗布剤など)を実際に作製してもらい、薬の成り立ちとその吸収、効果について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。皮膚に作用する薬の世界へ皆さんをご招待します。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
10:00~10:30	受付			筆記用具	
10:30~10:50	開講式、オリエンテーション、スタッフ紹介、スケジュール説明、科研費の説明、「ひらめき☆ときめきサイエンス〜ようこそ大学の研究室へ」の説明			タオル	
10:50~11:00	休憩			特 記 事 項	
11:00~11:45	講義「くすりの形とその機能 - 製剤化サイエンス -」				
11:45~12:45	実施者及び大学生(実験協力者)と一緒にフリートーク(軽食)				
12:45~13:30	実験「皮膚に作用する薬を実際に作ってみよう」				
13:30~13:40	休憩				
13:40~15:00	実験「皮膚吸収実験を体験しよう」				
15:00~15:30	クッキータイム(実験データの解析と各グループでの実験結果を眺めながら実施者、大学生との考察、意見交換、交流)				
15:30~16:00	修了式(未来博士号授与、アンケート記入、記念撮影)				
16:15	終了・解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	新潟薬科大学 教育連携推進センター事務局 池田 優花
住所：	新潟市秋葉区東島 265 番地1
TEL 番号：	0250-25-5386
FAX 番号：	0250-25-5021
E-mail：	edu@nupals.ac.jp
申込締切日：	平成 26 年7月31日(木) 締切後は大学にお問い合わせください。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
飯村菜穂子	H16-18	若手研究(B)	16750167	界面活性剤を利用した安全性の高い安定な色素沈着治療薬の開発
飯村菜穂子	H19-20	基盤研究(C)	19550187	皮膚疾患治療、アンチエイジング効果をもつ薬剤開発とその経皮吸収促進



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。